

平成30年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 平成30年4月17日（火）

2 調査対象 第6学年児童44名

3 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語A 国語B 算数A 算数B 理科）

Aは主として「知識」に関する問題、Bは主として「活用（知識・技術等を実生活の様々な場面に活用する力）」に関する問題です。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問調査用紙

4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語A/B 算数A/B 理科 全ての領域で、おおむね全国平均と同程度でした。

(2) 児童質問紙調査

成果が見られた項目

- 学校のきまりを守っていますか。
- 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。
- 家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか。
- 将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか。

課題が見られた項目

- 自分には、よいところがあると思いますか。
- 算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思いますか。
- 算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。

5 学力向上の取り組み

今回の調査結果では、活用力に関する問題に課題がみられました。本校では今後、次の3点について重点的に取り組んでいきます。

- ・ 学習したことについて、感想や新たな疑問等を考える「振り返り活動」の設定
- ・ 発表の裏付けとなる自分の考えが持てるノート指導
- ・ 教材や提示の仕方等を工夫し、子どもの知的好奇心を高める授業

6 保護者・地域の皆様へ

児童の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

- 家庭学習の時間や読書の時間の確保（ゲーム、テレビ、パソコン等のメディアから離れる時間をつくる）
- 家庭学習の仕方（4月に配付済み）を参考にして、家庭学習の習慣をつける
- 地域交流活動の推進（様々な生活体験の機会を作る）